

## 第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 男子13名 女子18名 計31名  
指導者 酒 井 静

1 単元名 お話，大すき 11月中旬 17時間（読む6 書く11）  
（教材名 こんなお話を考えた）

2 単元について

(1) 教材について

第1学年及び第2学年の「書くこと」における目標は、「経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」である。

本教材は、読み聞かせを聞いてお話のおもしろさを味わった後、自分で簡単な組み立てを考えてお話を書き、絵本を作ることをねらいとしている。「三まいのおふだ」は挿絵が多いため、文字を追って読むことを苦手としている児童も、抵抗なく学習に取り組むことができるものと思われる。聞いて楽しむことを大事にしながら、イメージ豊かにお話の世界を思い描くことができる教材としての側面と共に、絵本作り活動への橋渡しの役目ももっている。

想像を十分に広げながらお話を味わうことによって、絵本作りにも関心・意欲をもち、自分なりのストーリーを楽しみながら思い描くことができる教材である。

(2) 児童の実態

児童は1学期に、「今週のニュース」で、自分の身の回りから様々な見方でニュースを探すこと、「お手紙こうかん会」で、相手意識をもちながら手紙を書くこと、「生きものかんさつカード」で、観察した生き物について分かりやすく書いて1年生に紹介することを学習してきた。これらの学習活動の中では、どの児童も楽しみながら文章を書くことができ、書くことに対する関心・意欲が高まってきている。

しかし、4月の国語科に関する意識調査では、「文を書くのが好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童が学級全体の86%であったが、7月の同調査では、81%に減少している。「きらい」「どちらかといえばきらい」と回答した児童はその理由として、「頭の中にあることを文にすることができない」「うまく書けない」ということを挙げている。

(3) 指導にあたって

本単元の学習においては、児童が想像力を十分に膨らませてお話の世界に飛び込んだり、登場人物の行動や様子などを思い描きながら絵本作りをしたりすることができるようにしたい。そこで、読むことや書くことを苦手としている児童も、意欲をもって楽しく学習活動に取り組むことができるように留意しながら、個に応じた指導の工夫を行っていきたい。

(4) 研究仮説との関わり

ア 教材の工夫と活用

絵本作りでは、紙板書やワークシートを活用することによって、三枚の挿絵と「はじめ」「なか」「おわり」というお話の展開との関連をしっかりと確認する。また、書くことを苦手としている児童には、構成の段階でお話作りのポイントをより具体的に示したワークシートを準備することによって、自信をもって書き進めることができるようにする。（視点1）

イ グループ学習，TT指導

・書くことに対して苦手意識のある児童は、構成や記述の段階でのつまずきが予想される。そこで、TT指導では、特に対話を大切にすることによって、お話が膨らむきっかけを一緒に探したり、児童の思いを引き出したりする支援を行っていく。また、他の児童一人一人にも細やかな支援を心がけていく。

・推敲の段階で、グループで作品を読み合っただけでアドバイスをする。そして、感想の交流をもとにして書き加えや修正をする活動を行うことによってさらに想像を広げたり、お話作りのポイントを確認したりすることができるようにする。また、完成した絵本を読みあう段階では、友だちの絵本のよいところを見つけ、お互いに認め合うことができるようにする。（視点2）

ウ 座席表の活用

お話の内容や振り返りカード、ワークシートの記述等をもとにして児童の実態を把握して書き込み、個に応じた支援ができるようにする。また、1時間毎の学習の様子についても記録することによって、児童の変容を見取っていく。（視点3）

### 3 単元の目標

絵を見て想像を広げながら読み聞かせを聞き、お話のおもしろさを味わうことができる。

簡単な組み立てを考えてお話を書き、絵本を作ることができる。

- 【 関心・意欲・態度 】 ・本を選び、進んで読もうとしている。  
・楽しみながら、お話を考えたり絵本を作ったりしている。
- 【 話すこと・聞くこと 】 ・話の内容の大体を聞き落とさないように、興味をもって読み聞かせを聞くことができる。
- 【 書くこと 】 ・「はじめ・中・おわり」など、簡単な組み立てを考えてお話を書くことができる。  
・作ったお話を読み返し、表記の間違いや筋の通らないところを見つけて書き直すことができる。
- 【 読むこと 】 ・お話を聞いて、内容の大体をつかむことができる。  
・場面の様子などについて想像を広げながら、お話を読んだり聞いたりすることができる。
- 【 言語についての知識・理解 】 ・長音、拗音などの表記ができ、助詞「は・を・へ」を適切に使うことができる。  
・句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して、文章の中で使うことができる。

### 4 単元の評価規準

	概 ね 満 足
関心・意欲・態度	図書室から本を選んで、進んで読もうとしている。 楽しみながら、お話を考えたり絵本を作ったりしようとしている。
話すこと・聞くこと	話の大体の内容を聞き落とさないように、興味をもって読み聞かせを聞いている。
書くこと	「はじめ・中・おわり」など、簡単な組み立てを考えてお話を書いている。 作ったお話を読み返し、表記の間違いや筋の通らないところを見つけて書き直している。
読むこと	お話を聞いて、内容の大体をつかんでいる。 場面の様子などについて想像を広げながら、お話を読んだり聞いたりしている。
言語事項	長音、拗音などの表記ができ、助詞「は・を・へ」を適切に使っている。 句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して、文章の中で使っている。

5 指導計画（17時間）

次	時	目 標	評 価 規 準	単元の評価規準との関連	指導体制
			概 ね 満 足		
1	1	・絵を見ながら，三枚のお札がどうなるのかを聞き落とさないように，興味をもって読み聞かせを聞くことができる。	・三枚のお札がどうなるのかを聞き落とさないように，興味を持って読み聞かせを聞こうとしている。 ・三枚のお札がどのように使われたのか考えながらお話を聞き，内容の大体をつかんでいる。	話 読	一斉
2	2	・教師の読み聞かせを聞き，いろいろなお話に親しむことができる。	・読み聞かせに興味を持って聞こうとしている。	話	一斉
	3	・図書室の本を選んで進んで読もうとしている。	・図書室で本を選んで，進んで読もうをとしている。	関	一斉
	4	・読んだ本についてグループで紹介することができる。	・読んだ本について，大体の内容をつかんでいる。 ・場面の様子などについて想像を広げながら，お話を読んでいる。	読	一斉
3	5	・友達どうして読み聞かせをして，感想を話し合うことができる。	・友達の読み聞かせを聞き，内容の大体をつかみ，友達と感想を話し合っている。 ・場面の様子などについて想像を広げながら，お話を読んでいる。	話 読	一斉
	7	・絵本作りに興味をもち，三枚の絵を見比べ，お話の順序を考えることができる。	・絵本作りに興味をもち，進んでお話の順序を考えている。	関 書	一斉
	8	・三枚の絵を線画で示したものに彩色しながら，お話のイメージを広げることができる。	・絵を見て場面の様子などについて想像を広げながら，「はじめ・中・おわり」の簡単な組み立てを考えてメモを書いている。	書	TT
4	9	・教科書の文例を読んで，お話の書き方を理解することができる。	・教科書の文例を読んで，楽しみながらお話を考えたり絵本を作ったりしている。	関	TT
	10	・メモをもとに，お話の「はじめ・中・おわり」など，簡単な組み立てを考えて書くことができる。	・「はじめ・中・おわり」など，簡単な組み立てを考えてお話を書いている。 ・長音，拗音等の表記，助詞の使い方，句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して，文章の中で正しく使っている。	書 言	TT
	11	・書いた作品を読み返し推敲することができる。	・作ったお話を読み返し，表記の間違いや筋の通らないところを見つけて書き直している。	書	TT
5	12	・絵本の作り方を理解することができる。	・楽しみながら，絵本を作っている。	関 言	一斉
	13	・レイアウトを考え，絵をかき，清書することができる。	・拗・長音や助詞，句読点やかぎなどを適切に使って清書している。	言	一斉
	14	・表紙を作るなどして，本の形にすることができる。	・場面の様子などについて想像を広げながら，友達が作ったお話を読んでいる。	読	一斉
	15	・絵本を読み，感想を発表することができる。			

## 6 本時の指導（7 / 17）

### （1）目 標

絵本づくりの活動に興味をもちながら，三枚の絵が「はじめ」、「中」、「おわり」というお話の展開になることに気づき，絵を見ながらお話の順序を考えることができる。

### （2）具体の評価規準

	十 分 満 足	概 ね 満 足	努力を要する児童 （支援）	評価方法
関	・絵本作りに興味をもち，進んでお話の順序や流れを考えている。	・絵本作りに興味をもち，進んでお話の順序を考えている。	・読み聞かせて読んだ本を何冊か準備しておき，興味をもたせる。 ・昨年の2年生の作品を紹介することで，具体的なイメージをもたせる。	・発表 ・観察 ・振り返りカード
書	・三枚の絵を見比べ，お話の簡単な組み立てや流れを考えて，絵を順序に並べている。	・三枚の絵を見比べ，お話の簡単な組み立てを考えて，絵を順序に並べている。	・三枚の絵の違いに着目させ，できごとや登場人物の行動と関連づけて考えさせる。	

### （3）授業研究の視点

視点1 本時は，絵本作りの学習の第1時である。児童全員が，絵本作りの活動に興味と関心をもって学習を始めることができるようにするために，前時までの学習活動において楽しかった経験を想起させるとともに，昨年度の2年生が作った絵本を提示することによって，今後の学習についての具体的なイメージをもたせることができるようにする。

視点3 これまでに座席表に記入した内容や振り返りカードの確認などによって，前時までに児童個々が読んだ本や紹介した本，学習の様子などについて具体的に把握する。また，第1・2次の楽しかった学習経験を振り返らせながら，絵本作りに対する関心や意欲を十分に高めることができるように，個に応じた支援の手立てについて座席表に記入し活用する。

(4) 展 開

段階	学 習 活 動	支援・留意点( )と評価( ) 個...個に応じた指導
つかむ 10分	1 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">三まいの絵をならべて、お話のじゅんじょを考えよう。</div>	今日から絵本作りの学習活動が始まることを話し、新たな学習内容への期待や意欲をもちながら学習を始めることができるように、児童の反応を大切に指導に当たる。 昨年度の2年生が作った絵本を例として提示することによって、具体的なイメージを持たせる。
深 め る 25分	2 三枚の絵を見て、違いについて話し合う。  3 三枚の絵を順番に並べる。 ・お話の流れを考えながら並べる。 ・友達の考えも参考にして並べる。 ・並べ終わったら、番号を書き込む。  4 絵の順番とお話の展開との関係を知る。	教科書31ページの絵を紙板書で提示する。 順序にも関連づけた発言があれば取り上げて、次の段階で例として扱うようにする。 1枚1枚の絵について、想像を膨らませることができるようにする。 個...違いが分からない児童には、場所や登場人物の動きや様子など、具体的な視点を与えて考えさせるようにする。 三枚の絵をバラバラにしたワークシートを各自に配布しておき、机の上に自由に並べさせる。 自分の考えたお話の流れを、小さな声で話しながら並べてもよいことにする。 途中で、早く並べ終えた児童1～2名に発表させ、参考にして考えることができるようにする。 個...並べられずにいる児童には机間指導を行い、全体で話し合ったことを思い出したり、友達の発表も参考にしたりするように、具体的な助言をする。 進んでお話の順序を考えようとしている。 三枚の絵を見比べ、お話の簡単な組み立てを考えて、絵を順序に並べている。
ま と め る 10分	5 本時の学習を振り返る。  6 次時の学習内容を知る。	振り返りカードに記入することにより、学習内容について振り返ることができるようにするとともに、お互いの考えを認め合い、次時の学習活動に対する意欲を高めて終わる。

おわり

な  
か

は  
じ  
め

P.31 の  
挿 絵

・場しよ  
・とう場人ぶつ(何をしているのかな)

じよ  
三まいの絵をならべて、お話のじゅん  
じょを考えよう。

お話、大すき

